

一般質問通告事項【12月8日(火)】《2日目》

令和2年第6回松江市議会定例会

順序	7	議員名	三島 良信	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	12月8日
質問項目	質問要旨					
1 農業振興について	(1) (大規模農業) ア 大規模農業(集積・集約化)の推進状況を伺う。 イ 推進にあたりどのような問題点や課題があるのか伺う。 ウ 今後の農業振興はどのように進められるのか伺う。 (2) (小規模農業) ア 用排水路等の小規模な修繕などの補助事業はないか伺う。 イ 農林事業に現物支給などの助成は出来ないか。 ウ 多面的機能事業の、農地維持活動事業や長寿命化活動事業の事業予算は今後も続くのか伺う。また、拡充を望んでおられるが如何か。					
2 畜産振興について	(1) 松江市の畜産農家の現状を伺う。(農家数・頭数) (2) 畜産農家が減少の方向とみるが要因を伺う。 (3) 振興策について農家の意見や要望等が反映されているか伺う。 (4) どんな助成制度が有るか、積極的な対策が必要と考えるが如何か。					
3 入札対応について	(1) 一般建設工事や災害復旧工事等の入札の不落、辞退が多いように聞くが何故なのか伺う。 (2) 復旧工事は小さい単位であり諸経費が嵩むので採算に合わないと思うが現状を伺う。 (3) 発注側の単価が低いのか、工事の手間が無いのか、入札方法に問題があるのではないかと伺う。 (4) 以前から意見が出ているが予定価格の事前公表は出来ないか。					
4 移送サービス事業について	(1) 移送支援事業制度の内容を変えると聞くが事業内容を伺う。 (2) 利用者に説明や理解は得られているか伺う。 (3) 美保関町ではボランティア団体を立上げ取組むと聞くが現状を伺う。 (4) 宍道の地区社協でも買い物支援や通院支援に取り組んでいるが、今後、松江市の事業として取り組む必要が有ると考えるが如何か。					
5 宍道湖・大橋川流域の水質・環境について	(1) 水質・環境の現在の状況を伺う。 (2) 水草・藻の繁茂の対策は進んでいるか伺う。 (3) 今年の漁獲高の状況を伺う。 (4) 漁船の係留事業等の事業補助は出来ているか伺う。 (5) 漂着ゴミは宍道湖周辺だけでなく広域的な課題とすべきと考えるが如何か。					

一 般 質 問 通 告 事 項【12月8日(火)】《2日目》

令和2年第6回松江市議会定例会

順序	議員名	細木 明美	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	12月8日
質問項目	質問要旨				
1 島根半島沿岸部における漂着ごみについて	(1) 漂着ごみの現状について (2) 台風10号時の多古漁港の状況について (3) 災害扱い、もしくはそれ相応の扱いにはならないのか。 (4) 今年度の処分費予算の執行状況について (5) 環境保全部、産業経済部の今後の取り組みについて				
2 重要文化財の防火対策について	(1) 民間所有の重要文化財の維持、保存に対する松江市独自の支援策について				
3 イノシシ被害の実態と今後の取り組みについて	(1) 捕獲数や被害状況など今年の状況について (2) 現在の対策の強化や新たな対策の必要性など今後の取り組みについて (3) 捕獲員の増員対策について (4) 地域ぐるみの取り組み、広域的防護柵の設置の推進について				
4 松江市におけるデジタル化の取り組みについて	(1) デジタル化はどこまで進んでいるのか。何か検討はなされているか。 (2) 今後の取り組みについて				

順序	議員名	貴谷 麻以	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	12月8日
質問項目	質問要旨				
1 通知表のない学校や、自然の中での教育の必要性	(1) 全国の公立学校で、通知表のない学校等ができてきている。本来個性を伸ばすのであれば、通知表は不要だと思うが、少子化で未来を支える子どもたちの多様性をどのように伸ばすのがよいと考えるか。 (2) インクルーシブ教育では平均点を競うということ自体が無意味である。平均点をつけるよりも子どもさんを伸ばす指標はないか。 (3) 今の学校教育では、子どもの不得意なところにばかり目をやって、長所を伸ばすことをしていない。長所を見つけて伸ばすにはどのように実際に行動したらよいか、教育委員会や校長会で話合う機会はあるか。				

一 般 質 問 通 告 事 項【12月8日(火)】《2日目》

令和2年第6回松江市議会定例会

順序	議員名	貴谷 麻以	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	12月8日
質問項目	質問要旨				
1 通知表のない学校や、自然の中での教育の必要性	(4) 自然の中での教育は、人格形成に必須であるが「東京よりも自然の中に触れ合う機会が少ない」とIターンのお母さん達は嘆かれる。松江市の教育においては、自然環境について戸外での授業など意識が欠けていたと思われる。課題と考えられる方針は。				
2 若い女性の暮らし向き、自死者数の増加	(1) コロナ禍において若い女性の自死が急増しているといわれる。男性の自死者も増えている。経済的窮乏がその要因のひとつと思われるが、松江市の現状と若い人たちに特にみられる経済的窮乏の原因、その対策と考え方について伺う。 (2) 松江市内外の出身者で、都会へ出て生活に窮乏している若い人たちを今こそ呼び戻すべきと考えるが、対策と周知は如何に。				
3 女性の幹部登用の必要性	(1) 女性の幹部登用が遅々として進まない。政策決定責任者に女性がいないので、多くの女性の抱える課題が課題として認識されない。すなわち解決の糸口もない。部長級の女性の複数登用の必要性を感じていないのか伺う。				
4 今後の経済情勢と市が留意すべき点	(1) 今後の経済情勢は非常に厳しいものがあり、多くの職業が消滅するといわれている。その中で文化や芸術におけるまちづくりに舵を切ったのは、国際文化観光都市として当然だと思うが、ずいぶん遅かったとも思う。今後の経済情勢をどう考えているか。 (2) TPP、RCEP、その他の状況における中核市松江市の気を付けておかななくてはいけない点について伺う。				
5 伝染病下における原子力発電所の保守	(1) 島根原発の社員が新型コロナウイルスに感染したと聞く。コロナ以外でも社員が伝染病等にかかる可能性は大いにある。しかし、社員の伝染性の疾患や検疫の必要性は現実には想定されてこなかった。この件について、どのような対策を取るか。また取れるのか。				
6 市単独の農業への取り組み姿勢	(1) 今回、県の産地交付金の補助が松江市の単独予算で計上されている。これは良いが、周辺市町村と比べて農業についての意識や必要な方策が松江市は低いと思う。そのことが不要な開発、環境破壊につながる一つの要因であり、農業者の農業への取り組み意欲も阻害していると思われる。JA任せではなくもっと踏み込んで細やかな農業施策が必要ではないか。考え方について伺う。				
7 ホテル宍道湖と一畑百貨店跡地	(1) 松江市は島根県からホテル宍道湖跡地の購入を決めて予算化している。本来、宮岡市長の時には一畑百貨店跡地の購入ということが考えに入っていたはずであるが、この件は現在どうなっているのか。				

一 般 質 問 通 告 事 項【12月8日(火)】《2日目》

令和2年第6回松江市議会定例会

順序	議員名	貴谷 麻以	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	12月8日
質問項目		質問要旨			
7	ホテル宍道湖と一畑百貨店跡地	(2) ホテル宍道湖跡地は埋め立て地であり、現市役所庁舎より標高が低く市役所建設に適さないということは分かっているが、それではどのようなランドデザインを描いているのか。嫁島団地は寂れてきて新たな起爆剤や開発方針が望まれているところである。今後の見通しと計画、企画について伺う。			

順序	議員名	長谷川 修二	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	12月8日
質問項目		質問要旨			
1	産後うつ対策と助産師の役割や行政との連携について	<p>(1) コロナ禍において産後うつの対策がますます必要と重要となってきたおり、デイサービスでの来訪型から訪問型のサービスが求められているが、松江市におけるこれまでの取り組みと今後の対策への見解を伺う。</p> <p>(2) 助産師による産後うつの対応や、配偶者や同居の家族への講座の開催が行われていると聞かすが、現状と今後の展開に対する見解、そして助産師の活動に対しての支援策について伺う。</p> <p>(3) 産後ドゥーラへの支援に乗り出している自治体も出てきているが、松江市において産後ドゥーラの現状と助成金の創設など支援を行ってはいかがかと思うが見解を伺う。</p>			
2	学校給食における食物アレルギー対策について	<p>(1) 松江市の学校給食における食物アレルギー対策の現状を伺う。</p> <p>(2) 緊急時に使用されるエピペンの研修状況を伺う。</p> <p>(3) スペルト小麦が小麦アレルギーを起こしにくい小麦として注目されているが、給食の物資選定におけるアレルギー対策の取り組みの現状について伺う。</p> <p>(4) アレルギー対策として、当該児童・生徒や保護者のみならず給食時の児童・生徒や教職員の理解や協力が必要と思われるが、特に配膳時における工夫や現在の取り組み状況を伺う。</p> <p>(5) アレルギー対策での給食費の取扱いについて伺う。</p>			
3	来訪者数や宿泊者数を伸展させるための施策について	<p>(1) 近年の松江市への来訪者数や宿泊者数の推移について伺う。</p> <p>(2) コロナ禍において世の中では自然に親しむキャンプが注目されているが、来訪者数や宿泊者数を伸展させるための施策の現状や今後について伺う。</p> <p>(3) 来訪者数や宿泊者数を伸展させるために、楓を中心とする紅葉スポット(例えば末次公園や北公園、総合運動公園など)を作ることを提案するが見解を伺う。</p>			

一 般 質 問 通 告 事 項【12月8日（火）】《2日目》

令和2年第6回松江市議会定例会

順序	10	議員名	長谷川 修二	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	12月8日
質問項目	質問要旨					
4	人口減少対策 や社会動態の現 状について	(1) 自然増減や社会増減の現状について伺う。 (2) 総合戦略で人口減少対策が練られてきたが、人口減少の歯止めがかからず、減少スピードが増してきているように思えるが、今一度しっかりとした分析と抜本的な対策が必要と思われるが見解を伺う。				
5	民間企業や他 業態からの人材 の受け入れにつ いて	(1) これまでの民間企業や他業態からの人材の受け入れと、行政上の効果についてはいかがであったかを伺う。 (2) コロナ禍の現在、JAL や ANA が社員を様々な企業や自治体等へ出向させていると聞く。接客の極意や中学生や高校生へのキャリア教育などに対し、高くそして新たな知見を有していらっしゃると思うが、これらの社員の方々の受け入れに対する所見を伺う。				
6	水銀灯のLED化 の現状について	(1) 水俣条約批准のみならず、脱炭素社会を目指すに当たっても、水銀灯の LED 化は必要であると思われるが、現状と計画策定の進捗について伺う。				

順序	11	議員名	吉儀 敬子	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	12月8日
質問項目	質問要旨					
1	松江市の文化 芸術政策につい て	(1) コロナを経験する中で、市の文化芸術に対する認識に変化があったのか。 (2) 松江の文化力を生かしたまちづくり条例（案）について ア 条例案について、関係団体に条例案を示し意見を聞いたのか。 イ パブリックコメントの件数と、内容について伺う。 ウ 憲法 21 条に明記された「表現の自由」は国民の権利であり、松江市の文化芸術の推進の根幹をなすものである。条例の前文に「表現の自由」の文言は入れるべきではないか。 なお、松江市は「表現の自由」についてどのようにとらえているのか。 エ 条例案（目的）第 1 条について 「未来を担う子どもたちはもとより、世代を超えて誰もが」の部分は、具体的に「年齢・障がいの有無、経済的な状況や地理的な状況に関わらず」と障がいのある人もない人も、経済的な理由で文化芸術に触れることが難しい人であっても、すべての市民が「文化・芸術を楽しむことができることを目的」とすべきではないか。 オ 条例案（市の役割）第 3 条の 1 について (ア) 3 条の 1 で「市は…文化芸術振興の施策を総合的かつ計画的に実施するものとする」との抽象的な表現は、市の役割として「調査研究、整理し提供する」と、具体的な表現にすべきではないか。				

一 般 質 問 通 告 事 項【12月8日（火）】《2日目》

令和2年第6回松江市議会定例会

順序	11	議員名	吉儀 敬子	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	12月8日
質問項目	質問要旨					
1	松江市の文化芸術政策について	<p>(イ) 調査研究をすることは市に課せられた任務であり、特に調査研究した成果を整理し提供する体制が必要ではないか。</p> <p>そのためには資格を持つ専門家を配置して、体系的に記録整理し、いつでも提供できる体制を整えることが必要ではないか。</p> <p>カ 条例案第3条の2「市は、…協力するものとする」について</p> <p>(ア) 「協力する」は消極的であり、せめて「支援する」程度にすべきではないか。</p> <p>(イ) 特に、コロナ禍の中で様々な分野において松江市の文化芸術を支えてきた関係者は、大変な打撃を受けている。このまま推移すれば、松江市の築き上げてきた文化芸術を失いかねない状況である。この状況を改善するために、市として国に対して「文化芸術振興基金」の設置を働き掛けるとともに、条例の成立を待つまでもなく市独自の施策が必要ではないか。</p>				
2	種苗法改正について	<p>(1) 種苗法改正により、自家増殖の原則禁止は松江市農業にどのような影響を及ぼすと予想しているのか。</p> <p>(2) 種子法廃止に始まり農業競争力強化支援法の制定へと進み、種苗法改正への流れは、遺伝子組み換え作物やゲノム編集作物を栽培する企業に市場を明け渡すものではないか。種苗法改正は、外国企業の儲けのために日本農業が犠牲になることではないか。</p> <p>(3) コロナ禍において、各国が食料輸出を規制する中、食料自給率が先進国で最低の日本において、地域にあった種子を作り普及することは国・県・市が丸となって取り組むべきものであるが、現段階では、市は県と共に種の自給を守ることが食料自給率向上につながるの立場に立つべきではないか。</p>				
3	日立金属売却と三菱マヒンドラ農機の希望退職問題について	<p>(1) 日立金属売却と三菱マヒンドラ農機希望退職問題について、市として現段階でどの程度の情報収集を行っているのか。</p> <p>(2) この2件の問題に対する松江市経済に与える影響を、松江市としてどのように考えているのか。</p> <p>(3) 今こそ松江市中小企業・小規模企業振興基本条例の出番であり、市としてどのような対策を打つのか。</p> <p>(4) 本社が他県にある日立製作所と、本社が市内東出雲町にある三菱マヒンドラ農機とは、違う対応になると思われるが、特に三菱マヒンドラ農機は、何としても本社を東出雲町内に存続させる立場で対応すべきではないか。</p>				
4	東出雲公民館との複合施設について	<p>(1) 公民館がなくなる下意東地区と出雲郷地区について</p> <p>ア 下意東地区と出雲郷地区は、公民館が児童クラブに移行しても、コロナ感染症対策を見据えて、引き続き避難所として指定すべきと考えるが如何か。</p>				

一 般 質 問 通 告 事 項【12月8日(火)】《2日目》

令和2年第6回松江市議会定例会

順序	11	議員名	吉儀 敬子	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	12月8日
質問項目		質問要旨				
4	東出雲公民館との複合施設について	<p>イ 自治会活動をはじめとする自主防災組織や高齢者の見守り等、下意東地区と出雲郷地区の自治活動を保障するためには、児童クラブが使わない時間に、地域の住民が自治活動に使えるように対応すべきではないか。</p> <p>(2) 保健相談センターに全ての機能を集中させる現計画と、町民から意見のあった保健相談センターは手を加えずそのまま使用し、支所と公民館機能のみを支所跡地に建設する案について、建設費はそれぞれいくらかかるのか、試算し公表すべきではないか。</p>				

順序	12	議員名	新井 昌禎	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	12月8日
質問項目		質問要旨				
1	出生数約2,000人/年をめざす取り組みについて	<p>(1) 令和元年の全国の出生数は、86万人台となり、初めて、90万人を下回った。更に、今年に入ってから新型コロナウイルス感染症の影響により出生数が80万人を割り込む懸念が高まっている。自治体が1~7月に受理した妊娠届は、大きく減少しており、今後も、出産を控える動きが続くことも想定できる。松江市の妊娠届の受理件数の推移と前年同月との比較、そして、想定される出生数の動向について伺う。加えて、出生数を増やすための松江市独自の方策について伺う。</p> <p>(2) 松江市の出生数は令和元年10月から令和2年8月までの11か月の累計で1,467人となっており、目標の2,000人を下回る見込みとなっている。その要因は「出産、子育て世代の20~39歳の女性人口の減少および未婚化、晩婚化により出生数が減少している」としているが、出生率を高めるポイントは、男女比率が大きく影響しているとの指摘もあり、自治体に取り組む産業振興策について、雇用の数だけでなく、産業構造のバランスを考える必要がある。加えて、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでの価値観が大きく変化し、個別企業の持続性・将来性が大きく変化している。デジタル社会への転換を前提とした松江市の産業振興策について伺う。</p> <p>(3) 「小さい子どもとふれあう機会がよくあった子ども」は、「少ない子ども」と比較すると結婚や子どもを持つことの意欲に2.2倍の個人差があり、その背景に、地域コミュニティでの経験が影響している。つまり、地域のコミュニティ活動を少子化対策に位置付けることも必要だとの指摘がある。松江市は、各地域に豊かな歴史や伝統・文化があり、それぞれ活発な地域のコミュニティ活動が継続している。地域のコミュニティ活動が持続できるよう少子化対策の視点を加えた積極的な支援が必要だと考えるが所見を伺う。</p>				

一般質問通告事項【12月8日(火)】《2日目》

令和2年第6回松江市議会定例会

順序	議員名	新井 昌禎	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	12月8日
質問項目	質問要旨				
2 社会増平均270人/年の取り組みについて	<p>(1) 松江市の社会動態の推移を見ると、平成28年から平成30年は、社会増となっていたが、令和元年と令和2年は社会減に転じている。第2次総合戦略では、重点項目として「若者・女性をもっと暮らしやすいまち」をめざすとしているが、新型コロナウイルス感染症の拡大が、来春新卒者の就職活動に大きな影響を与えている。更に、地元企業の厳しい経営状況や人員削減計画が明らかになるなど、市内企業の雇用環境は、一段と厳しくなっている。第2次総合戦略では、市内に就職する高校生を266人/年、大学生等を435人/年、UIターン者数を1,445人としているが、令和元年の実績と比較してどの様に変化したのか伺う。</p> <p>(2) 島根県内の高校を来春卒業し就職を希望する学生の進路希望調査で、県内志向が高まっているとの報道があった。地元志向の高まりは、これまで、優秀な人材が採用できなかった地元企業にとっては、大きなチャンスである。新卒者やUIターン者の雇用拡大に対する松江市独自の支援が必要だと考えるが所見を伺う。</p>				
3 令和3年度予算編成の考え方と新型コロナウイルス対策について	<p>(1) 9月定例会での令和3年度予算編成に対する決算特別委員会の意見を踏まえ、令和3年度予算編成方針が庁内で議論・策定されていると思うが、令和3年4月には、市長選挙と市議会議員選挙が予定されている。令和3年度の当初予算がどのような予算編成となるのか伺う。</p> <p>(2) 市政に対する市民の関心が高まっている。特に、市の将来にわたる財政見通しに対する危機感が高まったと感じている。令和3年度の予算編成方針についても、早い段階から公開して市民の意見・要望を反映させることも必要ではないかと考えるが所見を伺う。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症の影響による市税の減収見込み額と歳入確保策について伺う。</p> <p>(4) 歳出について、不要不急の事業を先送りして、新型コロナウイルス対策に財源を集中するとともに、地域経済がコロナ禍で疲弊する中、デジタル社会への転換を前提とした地域経済を牽引する積極的な事業も必要になると考えるが所見を伺う。</p>				